

学術論文作成法（二）（2単位）

担当者氏名 菊地 哲夫 上田 智久

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

国内の各種学会での発表や学術論文投稿を中心に、発表し投稿できうるような論文作成法を学ぶ。そのためには先行論文の研究と分析、そのための理解力や明瞭な判断力を養う。また、作成された学術論文について、先行研究のサーベイと当該論文の研究史的な位置付け、新規性、有効性あるいは有用性等の確認を行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

オリジナリティ 専門用語 実証研究 論文投稿
先行研究

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス(第1～2週) (担当 菊地哲夫)	講義ガイダンス	事前に配布した資料を熟読すること。
2	学術論文作成(1) (第3～7週) (担当 菊地哲夫)	各種文献およびデータの紹介と学術論文の構成および節立てを学修する。	
3	学術論文作成(2) (第8～12週) (担当 上田智久)	参考文献の書き方、注の付け方および日本および世界のデータの紹介、データの集め方、図表の作成と書き方について学修する	
4	学術論文作成(3) (第13～14週) (担当 上田智久)	英語サマリーの作成および英文論文の書き方を学修する。	
5	学術論文作成の総括 (第15週) (担当 菊地哲夫)	総括・まとめ	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名/著者/発行所(発行年)

講義の際に指示する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

講義の際に指示する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

講義への参加状況と最終課題の内容により総合的に判断する

◆オフィスアワー

月曜日4限目(後期)

◆その他受講上の注意事項

受講生の進捗の状況に応じて演習内容を変更する場合がある